

施策	進捗状況	年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	今後の取組方向(予定等)
基本方針1 “津久見ならではの”の景観形成と集客交流拠点の確立			
重点施策1-1 “津久見の魅力を発信する”集客交流拠点整備			
施策01 広域周遊観光客も“気軽に立ち寄れる”集客交流拠点の整備と運営体制の検討	○	基本構想を策定したほか、市中心部の今後のありかたについて議論を着実に積み重ねた。庁舎建設事業との連携を目指すことをふまえて、スケジュールの変更が必要である。	庁舎建設事業との連携を図り、基本計画の策定や、市中心部のグランドデザインとりまとめ、整備実現に向けたスケジュールの具体化を図る。 (今後の予定) ・基本計画の策定(令和2～3年度)
施策02 “多様な滞在ニーズ”に対応できる受入環境整備の検討	○	ブロードバンド、トイレ、Wi-Fiをはじめ、受入環境の整備を進めた。	更なる受入環境の整備を進めていく。 (今後の予定) 市内公共施設等におけるWi-Fi拡充/休廃校中の校舎等の活用に向けた検討/旧音羽旅館の活用推進
施策03 “若者が集う”つくみん公園のパワーアップ	○	つくみん公園の利便性や快適性向上に向けた整備を進めたが、新たな環境整備には至っていない。公園施設の修繕が課題である。	つくみん公園の利便性や快適性向上に向けた取組を進める。 (今後の予定) ・公園施設の改修/コンテナ293号の環境整備
重点施策1-2 “誰もが楽しく”周遊できる移動環境の整備			
施策04 観光客の“多様な移動ニーズ”に対応できる二次交通網の強化と地域交通の活性化	△	イベント時、繁忙期において観光客等の交通対策を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、利用者増には至らなかった。	民間事業者との連携を強化していく。 (今後の予定) イベント時の交通対策の継続/鉄道・バス・タクシー利用促進/レンタサイクルの利用促進
施策05 “分かりやすく”、景観や暮らしとも“調和した”公共案内システムの検討	△	一部拠点において、看板等の設置により、案内の拡充を行った。整備計画は、集客交流拠点整備基本計画の一環でも取り扱うこととした。	集客交流拠点整備にあわせて、市内観光拠点・交通拠点からの案内システムについて検討を行っていく。 (今後の予定) 集客交流拠点整備基本計画における取り扱い
重点施策1-3 “絵になる”景観の整備			
施策06 “西日本一”の桜観光の実現に向けた取組の推進	◎	豊後水道河津桜まつりの魅力強化に加えて、市内各所での桜植樹、桜まつりの一体性の強化を狙った新ロゴマークの制作やアピールを通じて、津久見の桜観光を推進した。	豊後水道河津桜まつりの魅力強化とともに、桜まつりの一体性の強化に向けて取組を行う。 (今後の予定) 全国桜サミット(仮称)の開催検討/新しい桜スポットにおける整備・保全の継続/桜祭りの一体性の強化
施策07 “我が国でも稀有な景観”である「鉾山・工場・港湾」景観等の積極的活用	○	景観スポットを維持・保全しながら、メディア、イベント等を通じて、PRを行った。	市内企業との連携強化を図りながら、景観スポットの整備を進め、可能なところから情報発信を行う。 (今後の予定) サイクリングコースなどと併せた情報発信/工場夜景等活用

基本方針2 “全国に誇る”地域産業との連携による観光商品開発と市中心部の賑わい創出

重点施策2-1 親子が遊んで学べる“地球体験”観光プログラム開発と体制づくり

施策08	“津久見の自慢”「石灰石・セメント産業」体験観光の実現	○	市内企業の連携・協力のもと、ふるさと振興祭や学校教育、民間ツアーなどにおいて、石灰石・セメント産業体験を実施することができた。	石灰石・セメント産業との更なる連携推進を図るとともに、飲食や土産等市内消費拡大施策との連携推進にも取り組んでいく。 (今後の予定) 関連産業との検討の場の設置／モニターツアー等の試行／飲食・土産の開発促進
施策09	“世界最古”の宇宙塵と“夢が詰まった”ジオ体験観光の実現	○	網代島の魅力発掘に向けて、多面的な取組を行った。引き続き、魅力発掘を進めるとともに、具体的な活用を進める必要がある。	網代島の魅力のさらなる発掘・PR、旅行商品や土産品等での展開を進めていく。 (今後の予定) I S T S と連携した網代島PR／学習旅行や旅行会社ツアー等での網代島活用検討
施策10	“目指せ海の子！”海遊び体験観光の実現	△	津っぱくでの体験プログラム提供はあったものの、新たな仕組みづくりは進捗しなかった。	海遊び体験プログラムの検討 (今後の予定) 市内外事業者等と連携したボート・SUP体験等の検討
施策11	“イルカ博士になろう！”イルカ体験学習観光の実現	○	イルカ繁殖研究を通じてイルカ島のブランディングにつながっており、繁忙期の周遊促進策によって、市内への経済効果も創出した。教育旅行などの団体学習型旅行の誘致促進が課題である。	イルカ繁殖研究成果を生かした体験プログラムの開発・販売支援や、教育旅行の誘致促進 (今後の予定) つくみイルカ島と連携した教育イベント
施策12	“島を歩こう！”保戸島の魅力をいかしたツーリズムの実現	◎	保戸島の魅力を生かしたツーリズム促進事業を通じて、島民主体による地域振興への取組が加速した。	「保戸島わくわく会議」を継続し、観光商品開発等の取組のフォローアップを行う。 (今後の予定) 保戸島わくわく会議の継続開催
施策13	“農家・漁師になろう”農漁業ふれあい体験観光の実現	△	イベントに合わせて体験プログラムの提供を試みましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施ができなかった。	農漁業体験プログラムの検討（みかん狩り体験の復活、養殖場見学、加工施設の見学ほか） (今後の予定) 造成した体験プログラムの実施

重点施策2-2 “津久見らしい”食と特産品の開発・提供・発信力の強化

施策14	“津久見らしい”食と特産品の開発とブランド力の強化	○	地場産品のブランド強化に向けて、継続的な取組を行った。	ブランド力の強化に向けた取組の継続 (今後の予定) 地元特産品を生かした商品開発／石灰石・セメント産業と連携した商品開発
施策15	“ノウハウ蓄積・ネットワーク強化”による食と特産品の流通・販売機会の拡大	◎	定番企画の磨き上げ、繁忙シーズンに合わせた新たな消費拡大施策を行った。	広域連携による集客力の強化、弁当・テイクアウトの強化や販路開拓、特産品の開発継続・販路開拓 (今後の予定) 既存キャンペーンの磨き上げ・新キャンペーンの検討／販路開拓（通販サイトの活用、市内消費拡大など）
施策16	“味力結集”による食と特産品情報の発信・プロモーション	◎	新たな情報発信媒体の制作、大学連携など新たな取組を実施した。	周遊促進のためのプロモーションの継続、制作した媒体の効果的な活用、WEBやSNSを活用した情報発信の強化 (今後の予定) ・観光ガイドブック等への出稿検討

重点施策2-3 市民と観光客が“ともに賑わう”中心市街地の活性化

施策17	“若い力”を活用したまちなか賑わい創出	◎	まちづくりなどに取り組む市民、中学生などがまちなか賑わい創出に参画したほか、新規創業等もあった。	(今後の予定) 創業支援事業の継続／空き家情報バンクの情報拡充／津久見川周辺のにぎわい創出
施策18	“組織・顧客・動線”のつながり強化による中心商店街のパワーアップ	◎	市中心部の今後のありかたについて、議論を着実に積み重ねた取組が進んだ。	集客交流拠点整備を見据えた市中心部の機能連携の強化、賑わい創出 (今後の予定) 金融ゾーンの整備／つくみ軽トラ市の継続（埋立地／商店街）／グランドデザインのとりまとめ（令和元～3年度）／津久見市中心部の活性化に関する検討委員会（令和2年度）
施策19	“賑わいをいつまでも！”伝統芸能・歴史・文化、スポーツ、イベント等を通じた観光交流の推進	○	関係者の尽力により各種恒例行事を継続することができた。郷土芸能をはじめ、担い手不足への対応が課題である。	継続に向けた課題への対応検討（担い手、費用など） (今後の予定) 扇子踊り娘認定・派遣、津久見扇子踊り大会の継続・一般参加者の受入検討／つくみ港まつりの継続／ふるさと振興祭の継続／芸術文化振興事業の継続／各種スポーツイベントの継続

基本方針3 “オール津久見”による観光推進体制の確立

重点施策3-1 “津久見市版”観光DMO機能の構築

施策20	津久見市観光推進の中核機能強化と地域連携体制の構築	◎	津久見市版観光DMOの実現に向けて、着実に取組を推進した。	津久見市版観光DMOコーディネーター（外部人材）の任期最終年度であり、以降に向けた体制を視野に検討を進める。 （今後の予定） 観光協会の法人化
施策21	“市民や企業が活躍できる”受入体制・環境の整備	○	取組を通じて、観光まちづくりの新たな担い手発掘、育成を図った。各団体や取組の自立・継続が課題である。	事業を今後も継続する。 （今後の予定） 津っぱくの継続／まちづくり推進事業・婚活サポート推進事業の継続
施策22	広域連携による合同プロモーションや観光商品開発の強化	○	周辺市町村等と連携したプロモーションに取り組んだほか、広域連携による観光商品（ツアー）も具体化した。県内外の主要観光地等との連携強化が課題である。	広域連携によるプロモーションや観光商品開発に向けた取組の継続・強化 （今後の予定） ツーリズム商談会への参画／日豊海岸ツーリズムパワーアップ協議会への参画／3市連携による航空会社との共同プロモーション／日豊経済圏域や大分市などとの連携／大友宗麟史跡の活用

重点施策3-2 市民が“自ら学び・楽しむ”機運の醸成

施策23	地域資源への“愛着心”の醸成	○	関係主体と連携しながら、シビックプライド醸成に向けて、取組を推進した。	これまでの取組を継続しながら、さらにシビックプライド醸成に資する取組を検討していく。 （今後の予定） つくみ観光市民講座の継続／ふるさと教育の継続／芸術文化振興事業の継続／クイズラリー（繰り越し）／桜フォトコンテスト／桜スケッチ大会
施策24	市民参加による“花”の景観づくり	○	昨年度、周辺住民・店舗の協力を得て、海岸通りに設置したフラワーポッド設置の取組をつうじて「フラワーロード」の愛称も定着し、地域住民・商店主体のイベントも定例的に開催されている。	市中心部のグランドデザイン構想をふまえて、取組を継続し、商店街全体へ機運拡大を図る。 （今後の予定） フラワーポッドの管理継続

重点施策3-3 “津久見ファン”ネットワークによる販路拡大と移住交流の促進

施策25	“津久見ファン”ネットワークによる販路拡大と移住交流の促進	○	ふるさと納税や移住促進を通じて、津久見ファンネットワークの強化・拡大を図った。	津久見ファンの拡大、移住促進のための取組を継続する （今後の予定） ふるさと納税のさらなる推進／移住・就農関連イベント等への参加・実施／移住促進に向けた情報発信
------	-------------------------------	---	---	--

施策01 広域周遊観光客も”気軽に立ち寄れる”集客交流拠点の整備と運営体制の検討

施策の位置づけ	
基本方針 1	“津久見ならではの”景観形成と集客交流拠点の確立
重点施策 1-1	“津久見の魅力を発信する”集客交流拠点整備

施策内容(事業内容)の想定

・津久見の魅力をまとめて発信する集客交流拠点の整備の検討(市中心部の遊休地他)
 ・運営体制(観光まちづくり会社等の視野に入れた)の検討(市内の商工・観光関係者、まちづくり団体等との連携)

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度 (平成31年度)	-
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	・集客交流拠点施設の開業(平成33年度)

事業スケジュール	
平成29年度	・集客交流拠点整備の検討(テナントニーズ調査、遊休地の活用検討、周辺市場調査等を含む)
平成30年度	・基本構想・計画の策定(整備・建築手法含む)、運営体制の検討
令和元年度 (平成31年度)	・実施計画、テナント・運営体制の具体的検討
令和2年度 (平成32年度)	・集客交流拠点の整備、運営体制の立ち上げ
令和3年度 (平成33年度)	・集客交流拠点施設の開業

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)

基本構想を策定したほか、市中心部の今後のありかたについて議論を着実に積み重ねた。庁舎建設事業との連携を目指すことをふまえて、スケジュールの変更が必要である。

年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況 ○

今後の取組方向(予定等)

庁舎建設事業との連携を図り、基本計画の策定や、市中心部のグランドデザインとりまとめ、整備実現に向けたスケジュールの具体化を図る。
 (今後の予定)
 ・基本計画の策定(令和2～3年度)

※地方創生推進交付金関連事業

主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
※街なか拠点整備等基本構想策定業務(津久見市観光戦略推進事業)	商工観光・定住推進課	集客交流拠点整備に向けた、基本構想(街なか拠点等整備基本構想)を策定するもの	街なか拠点等整備基本構想として、基本方針や求められる機能、整備手法、実現に向けた課題等を整理した。担い手や事業費の確保が課題である。
津久見市観光交流館(つくみマルシェ)の運営	観光協会	集客交流拠点の運営を視野に、津久見市観光交流館「つくみマルシェ」を運営するもの	観光協会による運営の3カ年度目。大分空港臨時出店、新商品開発などに取り組んだが、年間売上高38百万円となり、前年を大きく下回った。天候不良や新型コロナウイルスによる閉店が大きく影響した。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等

平成29年度	・市中心部活性化の取組など、関連施策と歩調を合わせ、計画的に進めていくことが重要である。 ・つくみマルシェでは安定的な経営を継続するとともに、地場店舗や第一次産業事業者との連携が望まれる。
平成30年度	・市庁舎建設も含めた財源確保が大きな課題と思われる。 ・観光DMO・地域商社機能の実現には、収入確保が重要であり「街なか拠点」の機能構築が望まれる。 ・既存商店街との連携といった視点を重視してもらいたい。
令和元年度	

施策02 “多様な滞在ニーズ”に対応できる受入環境整備の検討

施策の位置づけ	
基本方針 1	“津久見ならではの”の景観形成と集客交流拠点の確立
重点施策 1-1	“津久見の魅力を発信する”集客交流拠点整備

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿・大会、大学等の調査研究、教育旅行等の受入体制の検討 ・海遊び関連設備等の整備検討(シャワー・トイレ設備、海遊びに必要な道具類の充実他) ・宿泊環境整備の検討(既存宿泊施設、民泊、休廃校中の小中学校の活用他) ・市内の主要観光施設等におけるWi-Fiスポット整備の検討 ・イルカ繁殖等の研究拠点施設整備の検討

達成目標										
<table border="1"> <tr> <td>平成29年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿・大会、大学等の調査研究者のニーズ把握 (平成29年度) ・休廃校中の小中学校の活用検討(平成29年度) </td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和元年度(平成31年度)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・体験観光や学習旅行にかかる宿泊施設的环境整備及び運営体制の検討(平成30年度～33年度) </td> </tr> <tr> <td>令和2年度(平成32年度)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の主要観光施設等におけるWi-Fiスポット整備検討(平成30年度～33年度) ・海遊び関連設備等の整備検討(平成30年度～33年度) ・イルカ繁殖等の研究拠点施設整備検討(平成30年度～33年度) </td> </tr> <tr> <td>令和3年度(平成33年度)</td> <td></td> </tr> </table>	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿・大会、大学等の調査研究者のニーズ把握 (平成29年度) ・休廃校中の小中学校の活用検討(平成29年度) 	平成30年度		令和元年度(平成31年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験観光や学習旅行にかかる宿泊施設的环境整備及び運営体制の検討(平成30年度～33年度) 	令和2年度(平成32年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の主要観光施設等におけるWi-Fiスポット整備検討(平成30年度～33年度) ・海遊び関連設備等の整備検討(平成30年度～33年度) ・イルカ繁殖等の研究拠点施設整備検討(平成30年度～33年度) 	令和3年度(平成33年度)	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿・大会、大学等の調査研究者のニーズ把握 (平成29年度) ・休廃校中の小中学校の活用検討(平成29年度) 									
平成30年度										
令和元年度(平成31年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験観光や学習旅行にかかる宿泊施設的环境整備及び運営体制の検討(平成30年度～33年度) 									
令和2年度(平成32年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の主要観光施設等におけるWi-Fiスポット整備検討(平成30年度～33年度) ・海遊び関連設備等の整備検討(平成30年度～33年度) ・イルカ繁殖等の研究拠点施設整備検討(平成30年度～33年度) 									
令和3年度(平成33年度)										

事業スケジュール										
<table border="1"> <tr> <td>平成29年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿・大会、大学等の調査研究者のニーズ把握 ・休廃校中の小中学校の活用検討 </td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和元年度(平成31年度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和2年度(平成32年度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度(平成33年度)</td> <td></td> </tr> </table>	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿・大会、大学等の調査研究者のニーズ把握 ・休廃校中の小中学校の活用検討 	平成30年度		令和元年度(平成31年度)		令和2年度(平成32年度)		令和3年度(平成33年度)	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿・大会、大学等の調査研究者のニーズ把握 ・休廃校中の小中学校の活用検討 									
平成30年度										
令和元年度(平成31年度)										
令和2年度(平成32年度)										
令和3年度(平成33年度)										

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)		
<p>ブロードバンド、トイレ、Wi-Fiをはじめ、受入環境の整備を進めた。</p>		
<table border="1"> <tr> <th>年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況</th> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	○
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	○	

今後の取組方向(予定等)
<p>更なる受入環境の整備を進めていく。 (今後の予定) 市内公共施設等におけるWi-Fi拡充／休廃校中の校舎等の活用に向けた検討／旧音羽旅館の活用推進</p>

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
ブロードバンド整備事業(平成29～31年度予定)	会計財務課	日代・四浦・保戸島地区等のブロードバンドを整備するもの	令和元年度末をもって整備事業を完了した。
おもてなしトイレ緊急整備事業	商工観光・定住推進課	保戸島トイレ新設工事、総合運動公園サニーホールトイレの洋式化工事を行うもの	保戸島にトイレを新設し、サニーホールのトイレの洋式化により、利用者の利便性を向上した。
休廃校中の校舎等の活用に向けた検討	会計財務課	休校中の一校について、有効活用するために民間事業者等の募集を実施するもの	公募型プロポーザル方式で実施したが、応札がなかった。引き続き、休廃校中の校舎の活用に向けた取組を行っていく。
旧音羽旅館活用準備事業	津久見市観光協会／商工観光・定住推進課	旧音羽旅館の活用により、市中心部におけるまちづくり拠点づくりを行うもの	旅館業の開業に向けた調査(旅館業開業手続、消防手続、リネン手続等の確認)を行った。活用に向けて引き続き取組を行っていく。
津久見市観光協会Wi-Fi導入事業	津久見市観光協会	津久見市観光協会事務所においてWi-Fiを導入し、来訪客への便宜を図るもの	津久見市観光協会事務所においてWi-Fiを導入した。来訪客向けにQRコードで接続できるサービスを提供している。
復興まちづくり事業	まちづくり課	津久見川の河川改修工事に伴う、周辺環境整備や周辺市街地の活性化に向けた取組を実施するもの	市内スイーツ店情報と、避難場所・経路を合わせてパンフレットを制作し、市民や観光客への啓発を図った。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業を実施していくうえで、財源確保が課題と考えられる。 ・進捗状況については、台風災害により事業の一部が未達となっており、今後の取組強化が必要であるとされる。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・休廃校中の小中学校の活用に向けた検討が進んでいないことは大きな課題であり、迅速な取組が必要と思われる。
令和元年度	

施策03 “若者が集う”つくみん公園のパワーアップ

施策の位置づけ	
基本方針 1	“津久見ならではの”の景観形成と集客交流拠点の確立
重点施策 1-1	“津久見の魅力を発信する”集客交流拠点整備

施策内容(事業内容)の想定

・ コンテナ293号での観光案内機能の強化(観光情報、食・特産品情報、中心商店街情報他)
 ・ 子育て世代ファミリーがより楽しめるための環境整備(快適な利用環境の整備検討、遊具等の魅力向上他)

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	・ 整備方針等に基づく環境整備(平成30年度～32年度)
令和元年度 (平成31年度)	
令和2年度 (平成32年度)	
令和3年度 (平成33年度)	・ つくみん公園利用者数を平成28年度比で5割増 (平成33年度)

事業スケジュール	
平成29年度	・ コンテナ293号での観光案内機能の強化 ・ 公園の全体配置(ゾーニング)・整備方針等の検討
平成30年度	・ 整備方針等に基づく環境整備及び新規遊具設置の検討・実施
令和元年度 (平成31年度)	
令和2年度 (平成32年度)	
令和3年度 (平成33年度)	-

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)

つくみん公園の利便性や快適性向上に向けた整備を進めたが、新たな環境整備には至っていない。公園施設の修繕が課題である。

年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況 ○

今後の取組方向(予定等)

つくみん公園の利便性や快適性向上に向けた取組を進める。
 (今後の予定)
 ・ 公園施設の改修／コンテナ293号の環境整備

※地方創生推進交付金関連事業

主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
情報発信拠点運営事業 (周遊対策事業)	商工観光・定住推進課	コンテナ293号に係員を常駐して観光案内等を実施するもの	本拠点での観光案内、問い合わせ対応等について、公園利用者からの評判も良いと考えている。
コンテナ293号の強化事業	商工観光・定住推進課	コンテナ293号の利便性や拠点性の向上を図るもの。	授乳ができるように目隠しカーテンを設置したことで、多くの乳児連れ家族に利用されている。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等

平成29年度	・ つくみん公園隣接遊休地にコンビニエンスストアが開店したことも評価できる。 ・ 市中心部への導線強化も重要である。 ・ 整備方針を示し、取組強化が必要である。
平成30年度	・ つくみん公園のさらなる魅力アップに向けた具体的な整備方針を早急に検討する必要がある。
令和元年度	

施策04 観光客の“多様な移動ニーズ”に対応できる二次交通網の強化と地域交通の活性化

施策の位置づけ	
基本方針 1	“津久見ならではの”景観形成と集客交流拠点の確立
重点施策 1-2	“誰もが楽しく”周遊できる移動環境の整備

施策内容(事業内容)の想定	
<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者の積極的活用(JRとの連携強化、観光タクシー、周遊バス、クルージング等の活用推進) 交通機関と連携した観光商品の造成 	

達成目標			
平成29年度	-	-	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者の積極的活用(JRとの連携強化、観光タクシー、周遊バス、クルージング等の活用推進のための実証実験及び観光商品の造成等)(平成29年度～31年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 桜観光での公共交通利用者割合を3割増(主要地点の平均)(平成30年度) つくみイルカ島への公共交通利用者割合を1割増(観光バスを含む)(平成30年度) 	
令和元年度(平成31年度)			-
令和2年度(平成32年度)			-

事業スケジュール		
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者の積極的活用を推進するための実証実験及び観光商品の造成等 交通事業者と連携した観光商品の利用促進 	-
平成30年度		-
令和元年度(平成31年度)		-
令和2年度(平成32年度)		-
令和3年度(平成33年度)		-

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
イベント時、繁忙期において観光客等の交通対策を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、利用者増には至らなかった。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	
△	

今後の取組方向(予定等)	
民間事業者との連携を強化していく。 (今後の予定) イベント時の交通対策の継続/鉄道・バス・タクシー利用促進/レンタサイクルの利用促進	

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
無料シャトルバスの運行	商工観光・定住推進課	5月連休時に臨時駐車場への臨時無料シャトルバスを運行するもの	繁忙期の観光客の利便性向上に貢献した。
つくみ港まつりでのイルカ島シャトルバス運行	商工観光・定住推進課	つくみ港まつり時に、つくみイルカ島往復(無料)シャトルバスを運行するもの	つくみイルカ島の来訪者増に貢献した。
豊後水道河津桜まつりでの1,000円乗り放題バス運行	観光協会	豊後水道河津桜まつり時に、自由乗降バス(有料)を運行するもの	利用者には好評だったが、新型コロナ感染拡大の影響により、利用者は少なかった。
豊後水道河津桜まつりでの定額タクシーの宣伝	観光協会	豊後水道河津桜まつり時に、定額タクシーの利用を促進するもの	利用者には好評だったが、新型コロナ感染拡大の影響により、利用者は少なかった。
レンタサイクルの導入	観光協会	観光協会とつくみマルシェにおいて電動アシストのレンタサイクルを導入するもの	徐々に利用者が拡大している。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の人手不足などが懸念される。 進捗状況については、台風災害により事業の一部が未達となっており、今後の取組強化が必要であると考えられる。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 各交通事業者の現状も踏まえ、取組内容等を検証する必要もあると思われる。
令和元年度	

施策05 “分かりやすく”、景観や暮らしとも“調和した”公共案内システムの検討

施策の位置づけ	
基本方針 1	“津久見ならではの”景観形成と集客交流拠点の確立
重点施策 1-2	“誰もが楽しく”周遊できる移動環境の整備

施策内容(事業内容)の想定

・ 観光施設や見どころ等への公共案内システムの検討 (全体地図、誘導案内サイン、説明案内サイン他)

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	・ 「(仮称)津久見市観光案内システム整備計画」の策定 (平成30年度)
令和元年度 (平成31年度)	・ 計画に基づく観光案内サインの主要地点への設置 (平成31年度～33年度)
令和2年度 (平成32年度)	
令和3年度 (平成33年度)	

事業スケジュール	
平成29年度	・ 観光案内サインの実態調査(サイン所在地、デザイン、利用状況他)
平成30年度	・ 「(仮称)津久見市観光案内システム整備計画」の策定
令和元年度 (平成31年度)	・ 観光案内サインの整備
令和2年度 (平成32年度)	
令和3年度 (平成33年度)	

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)

一部拠点において、看板等の設置により、案内の拡充を行った。整備計画は、集客交流拠点整備基本計画の一環でも取り扱うこととした。

年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況 △

今後の取組方向(予定等)

集客交流拠点整備にあわせて、市内観光拠点・交通拠点からの案内システムについて検討を行っていく。
(今後の予定)
集客交流拠点整備基本計画における取り扱い

※地方創生推進交付金関連事業

主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
イルカ島サイドパークでの案内看板設置	観光協会	イルカ島サイドパークにおいて案内看板を設置するもの	案内円滑化や逆走防止に効果があった。
網代島における案内看板設置	生涯学習課	網代島の案内と、利用上の注意について喚起する看板を設置するもの	地区の意向を踏まえて、網代島の案内と注意喚起を目的とした看板を設置した。
【施策01再掲】※街なか拠点整備等基本構想策定業務(津久見市観光戦略推進事業)	商工観光・定住推進課	集客交流拠点整備に向けた、基本構想(街なか拠点等整備基本構想)を策定するもの	街なか拠点等整備基本構想として、基本方針や求められる機能、整備手法、実現に向けた課題等を整理した。担い手や事業費の確保が課題である。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	・ 進捗状況については、台風災害により事業が未実施となったことから、今後の取組強化が必要であると考えられる。
平成30年度	・ 網代島のサイン、観光看板のあり方を検討する必要がある。 ・ 街なか拠点整備にあわせ、公共案内システムの検討を行う必要がある。
令和元年度	

施策06 “西日本一”の桜観光の実現に向けた取組の推進

施策の位置づけ	
基本方針 1	“津久見ならではの”の景観形成と集客交流拠点の確立
重点施策 1-3	“絵になる”景観の整備

施策内容(事業内容)の想定

- ・長期間楽しめる桜観光の推進(顕在化している四浦、青江の他、市街地や長目などへの展開も検討)
- ・桜植樹の推進(河津桜、ヤマザクラ他)

達成目標		
平成29年度	・桜植樹本数(総数)を10,000本以上(平成29年度) ・桜観光の入込客数を10万人／年以上(平成29年度)	・桜観光エリア整備計画 (平成29年度～30年度)
平成30年度	-	
令和元年度(平成31年度)	-	
令和2年度(平成32年度)	-	
令和3年度(平成33年度)	-	

事業スケジュール	
平成29年度	・四浦地区における河津桜の植樹推進 ・桜観光エリア整備計画の検討(市街地、長目等を想定) ・津久見市桜観光実行委員会による桜観光の一体的推進
平成30年度	
令和元年度(平成31年度)	・整備計画に基づく植樹と環境整備の推進
令和2年度(平成32年度)	
令和3年度(平成33年度)	・観光入込客数、観光消費額の大幅増加による“西日本一の桜観光”の実現

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)

豊後水道河津桜まつりの魅力強化に加えて、市内各所での桜植樹、桜まつりの一体性の強化を狙った新ロゴマークの制作やアピールを通じて、津久見の桜観光を推進した。

年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況 ○

今後の取組方向(予定等)

豊後水道河津桜まつりの魅力強化とともに、桜まつりの一体性の強化に向けて取組を行う。
(今後の予定)
全国桜サミット(仮称)の開催検討/新しい桜スポットにおける整備・保全の継続/桜祭りの一体性の強化

※地方創生推進交付金関連事業

主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
豊後水道河津桜まつりの開催	桜観光実行委員会	四浦地区の河津桜を楽しむイベントを開催するもの(会場案内、お祭り会場の運営・支援、プロモーション他)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため前年比4割減となったが、軽トラ市などの新企画が好評であった。
静岡県河津町との交流	商工観光・定住推進課、ロータリークラブ、観光協会	河津桜発祥の地、静岡県河津町との交流を図るもの	本年度も、河津町から河津桜を購入(ロータリークラブ)・植樹したほか、河津町の土産品販売を行った。
つくみ山桜まつりの支援	商工観光・定住推進課	青江ダム周辺の山桜を楽しむイベントの開催を支援するもの	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。
大漁桜の保全事業	農林水産課	黒島等に植樹した大漁桜を保全するもの	植樹した桜の鳥獣害対策や、周辺の環境整備を行った。
牡丹桜の植樹事業	農林水産課	県事業の一環で彦ノ内地区に牡丹桜800本を植樹するもの	地区関係者をはじめ、県知事、関係団体、ボランティア他が参加し、植樹や鳥獣対策を行った。
つくみの桜ロゴマークの制作	観光協会	津久見の桜観光を一体的にPRするための新たなロゴマークを制作し活用するもの	商店街でのフラッグ掲示、広告媒体への展開などを通じて一体感をPRした。今後も継続的な取組が必要である。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等

平成29年度	・台風災害により事業の一部が未達となっており、今後の取組強化が必要であると考えられる。 ・本市を代表する観光資源に成長した「四浦半島河津桜」の更なる発展が期待される。 ・静岡県河津町との交流事業の拡大・活用が期待される。
平成30年度	・河津桜観光の取組は大いに評価するが、植樹した桜の維持・管理、イベント運営等、高齢化が進む地域住民との協働体制をいかに構築していくかが課題である。
令和元年度	・河津桜はとても魅力的であり、今後も“みがき”をかける必要があると思われる。

施策07 “我が国でも稀有な景観”である「鉱山・工場・港湾」景観等の積極的活用

施策の位置づけ	
基本方針 1	“津久見ならではの”の景観形成と集客交流拠点の確立
重点施策 1-3	“絵になる”景観の整備

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・つくみん公園をはじめとする視点場(ビュースポット)の環境整備検討 ・工場・鉱山のライトアップ等の検討 ・全国の工場夜景活用地域との連携

達成目標	
平成29年度	・つくみん公園をはじめとする眺望スポットの環境整備検討(平成29年度～33年度)
平成30年度	
令和元年度(平成31年度)	
令和2年度(平成32年度)	
令和3年度(平成33年度)	

事業スケジュール	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・特に優れた視点場(ビュースポット)の選定 ・視点場(ビュースポット)の整備検討 ・観光イベントに合わせたライトアップの実施検討
平成30年度	-
令和元年度(平成31年度)	-
令和2年度(平成32年度)	-
令和3年度(平成33年度)	-

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
景観スポットを維持・保全しながら、メディア、イベント等を通じて、PRを行った。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	
	○

今後の取組方向(予定等)
<p>市内企業との連携強化を図りながら、景観スポットの整備を進め、可能なところから情報発信を行う。 (今後の予定) サイクリングコースなどと併せた情報発信/工場夜景等活用</p>

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
景観スポットの維持	まちづくり課	景観スポットの維持のため、必要な樹木伐採を行うもの	主要景観スポットの1つである大友公園、四浦展望台からの眺望維持のため伐採を行った。
「オススメです！魅力ある景観スポット」の紹介	まちづくり課	美しい眺めの妨げとなっている樹木を伐採することにより、美しい景観を再生する事業の支援	大友公園から市内中心部及び工場地帯への眺望の魅力をTVで紹介した。
2020つくみ桜フォトコンテストの開催	商工会議所	桜観光期間を活用したフォトコンテストの開催するもの	市内外から多くの作品応募があった。市内の桜に対する市民の愛着深化に繋がったと考えられる。
大友公園桜まつりスケッチ大会	商工会議所	大友公園を中心とした桜スポットの風景を描く大会を開催するもの	新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。
徳浦松崎線バイパス工事	まちづくり課	徳浦から松崎交差点までのバイパスを整備するもの	令和2年度中の開通にむけて事業を進めている。
つくみイメージライブラリの公開	観光協会	観光協会が所有する写真アーカイブを一般に供するもの	特に旅行会社や出版事業者等のBtoB利用が増加している。ライブラリ情報の充実が課題である。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	・台風災害により事業の一部が未達となっており、今後の取組強化が必要であると考えられる。
平成30年度	・全国に誇れる「鉱山・工場・港湾」の景観を生かすとともに、産業観光プログラムの確立に向けた取組推進が望まれる。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「鉱山・工場・港湾」はとても魅力的であり、今後も“みがき”をかける必要があると思われる。 ・産業と景観観光の連携、若者の移住・定住を促進する観点から、「石灰(漆喰)を活用した白い住宅」の建設についても、検討を進めていただきたい。

施策08 “津久見の自慢”「石灰石・セメント産業」体験観光の実現

施策の位置づけ	
基本方針 2	“全国に誇る”地域産業との連携による観光商品開発と市中心部の賑わい創出
重点施策 2-1	親子が遊んで学べる“地球体験”観光プログラム開発と体制づくり

施策内容(事業内容)の想定

・石灰石・セメント産業を楽しく学べる体験プログラムの開発(見学、体験、安全教育、資料展示他)

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度 (平成31年度)	-
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	・体験プログラム数50件以上(平成33年度) ・体験プログラム参加者数500人／年以上(平成33年度) ・教育旅行の受入件数3件／年以上(平成33年度)

事業スケジュール	
平成29年度	・個人旅行者等を対象とした体験プログラムの検討 ・個人旅行者等を対象としたモニターツアーの実施
平成30年度	・体験プログラムの商品化、個人旅行者への営業強化
令和元年度 (平成31年度)	・旅行会社への営業強化、団体ツアーの受入開始
令和2年度 (平成32年度)	・教育旅行受入に向けた体制の強化、教育旅行受入に向けた営業実施
令和3年度 (平成33年度)	・教育旅行の受入開始

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)

市内企業の連携・協力のもと、ふるさと振興祭や学校教育、民間ツアーなどにおいて、石灰石・セメント産業体験を実施することができた。

年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況 ○

今後の取組方向(予定等)

石灰石・セメント産業との更なる連携推進を図るとともに、飲食や土産等市内消費拡大施策との連携推進にも取り組んでいく。
(今後の予定)
関連産業との検討の場の設置／モニターツアー等の試行／飲食・土産の開発促進

※地方創生推進交付金関連事業

主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
津久見市ふるさと振興祭における鉱山見学の実施	商工観光・定住推進課	関係企業・団体に依頼し、鉱山見学を実施するもの	市内企業の連携のもと、鉱山見学を実施した。参加者からは大変好評であった。
津久見市ふるさと振興祭におけるフレスコ画体験等の実施	商工観光・定住推進課	関係企業・団体に依頼し、フレスコ画体験等を実施するもの	フレスコ画体験等を通じて、参加者の本市の産業への関心向上に貢献した。
地域資源発掘事業	生涯学習課	市内の地質に関する副読本「津久見の石まるごとガイドブック」を編集・製作するもの	関係企業、県内公共施設等に配布。今後は学校でのふるさと教育等の学習教材として活用していく。
ふるさと教育	学校教育課	ふるさと教育として、石灰石鉱山を見学するもの	津久見市の石灰石鉱山を間近に体験することで、市内企業の魅力を体感した。
民間企業によるツアーの受け入れ	観光協会	大型客船ぱしふいっくびいなすオプションツアーと、ライトンコスモ社エコツアーの受入を行うもの	市内企業の連携のもと、展望台からの鉱山見学、解説を実施した。参加者からは大変好評であった。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	フレスコ画のPRなどは、これまで以上に積極的に行うべきと考えられる。進捗状況については、台風災害により事業の一部が未達となっており、今後の取組強化が必要であると考えられる。
平成30年度	第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭でのフレスコ画等の取組が加速された。「津っばく」等の取組により、体験プログラム数が増加したことから、達成目標の上方修正を検討する。事業進捗も数値を記載すべき。
令和元年度	

施策09 “世界最古”の宇宙塵と“夢が詰まった”ジオ体験観光の実現

施策の位置づけ	
基本方針 2	“全国に誇る”地域産業との連携による観光商品開発と市中心部の賑わい創出
重点施策 2-1	親子が遊んで学べる“地球体験”観光プログラム開発と体制づくり

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・ ジオ講演会・学習会(仮称)の開催 ・ 宇宙塵や地質・地層に秘められた歴史や謎を紐解くガイドツアーの開発 ・ 教育旅行や体験学習向けのプログラムの開発

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度 (平成31年度)	-
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験プログラム数50件以上(平成33年度) ・ 体験プログラム参加者数500人／年以上(平成33年度) ・ 教育旅行の受入件数3件／年以上(平成33年度)

事業スケジュール	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジオ講演会・学習会(仮称)の開催 ・ 個人旅行者等を対象とした体験プログラムの検討 ・ 個人旅行者等を対象としたモニターツアーの実施
平成30年度	・ 体験プログラムの商品化、個人旅行者への営業強化
令和元年度 (平成31年度)	・ 旅行会社への営業強化、団体ツアーの受入開始
令和2年度 (平成32年度)	・ 教育旅行受入に向けた体制の強化、教育旅行受入に向けた営業実施
令和3年度 (平成33年度)	・ 教育旅行の受入開始

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
網代島の魅力発掘に向けて、多面的な取組を行った。引き続き、魅力発掘を進めるとともに、具体的な活用を進める必要がある。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	○

今後の取組方向(予定等)
<p>網代島の魅力のさらなる発掘・PR、旅行商品や土産品等での展開を進めていく。 (今後の予定) I S T S と連携した網代島PR／学習旅行や旅行会社ツアー等での網代島活用検討</p>

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
網代島お試しキャンプ (AJIRO CAMP)	まちづくり課	網代島及び日代中学校グラウンドの活用可能性を調査するもの	複数の調査テーマを持ち寄り、様々なトライアルを行い、地区住民との意見交換を通じて新たな活用可能性を発掘した。
地質資源発掘事業	生涯学習課	市内の地質に関する副読本の製作・配布するもの	小学校高学年以上を対象にした副読本を製作し、関係企業や県内公共施設等に配付。
網代島潮汐表の制作	観光協会	網代島での実測をもとに、島に渡れる時間を明記したカレンダーを制作するもの	カレンダーをもとに、旅行者等への案内や、イベントの企画検討に活用している。
市民図書館での網代島特設展示	生涯学習課	市民図書館で網代島や地質・宇宙に関する書籍や、パネル等を設置した特設コーナーを設営するもの	市民図書館来訪者に対して網代島や地質・宇宙に関する意識啓発を行った。
網代島における案内看板の設置	観光協会(生涯学習課)	網代島見学者臨時駐車場に案内板を設置	地元地区長への聞き取り調査の結果を踏まえて案内板を製作し、現地の整備を行った。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 網代島は貴重な資源であるが、まだ十分に観光活用されていないと感じられる。 ・ 進捗状況については、台風災害により事業の一部が未達となっており、今後の取組強化が必要であると考えられる。
平成30年度	第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭でのフレスコ画等の取組が加速された。「津っばく」等の取組により、体験プログラム数が増加したことから、達成目標の上方修正を検討する。事業進捗も数値を記載すべき。
令和元年度	

施策10 “目指せ海の子！”海遊び体験観光の実現

施策の位置づけ	
基本方針 2	“全国に誇る”地域産業との連携による観光商品開発と市中心部の賑わい創出
重点施策 2-1	親子が遊んで学べる“地球体験”観光プログラム開発と体制づくり

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・無垢島・保戸島での自然体験プログラムの拡充 ・指導員(インストラクター)の育成 ・海遊びスポットの整備 ・海遊び体験プログラムやイベントの新規開発

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度 (平成31年度)	-
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム数50件以上(平成33年度) ・体験プログラム参加者数500人／年以上(平成33年度) ・教育旅行の受入件数3件／年以上(平成33年度)

事業スケジュール	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな海遊び体験プログラムやイベントの新規開発 ・個人旅行者等を対象としたモニターツアーの実施
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員(インストラクター)育成 ・無垢島・保戸島での自然体験プログラムの拡充 ・体験プログラムの商品化、個人旅行者への営業強化
令和元年度 (平成31年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社への営業強化、団体ツアーの受入開始
令和2年度 (平成32年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行受入に向けた体制の強化、教育旅行受入に向けた営業実施
令和3年度 (平成33年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入開始

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
津っぱくでの体験プログラム提供はあったものの、新たな仕組みづくりは進捗しなかった。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	
	△

今後の取組方向(予定等)
海遊び体験プログラムの検討 (今後の予定) 市内外事業者等と連携したボート・SUP体験等の検討

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
高浜海水浴場の運営支援	観光協会	地元高浜区と協議し、高浜海水浴場の運営を支援するもの	本市を代表する海水浴場として多くの利用がある。水質検査もクリアしている良質な海水浴場であり、アピールしていく必要がある。
海の学校実行委員会への支援	経営政策課	NPO法人きらり・つくみが主催する、無垢島での自然体験学習を支援するもの	台風のため中止となった。
【施策13再掲】※体験プログラムの提供(観光戦略事業)	商工観光・定住推進課	クイズラリー実施に合わせて、体験プログラムを提供するもの	釣り体験、冷凍庫見学、保冷剤づくり体験、イルカ島体験等を予定したが新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となった。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	進捗状況は順調であり、事業成果も顕在化していることから、今後も継続的に取り組んでいくことが望まれる。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「津っぱく」等の取組により、体験プログラム数が大きく増加したことから、達成目標の上方修正を検討する。 ・指導員(インストラクター)、ガイド人材の育成確保が課題と思われる。
令和元年度	

施策11 “イルカ博士になろう！”イルカ体験学習観光の実現

施策の位置づけ	
基本方針 2	“全国に誇る”地域産業との連携による観光商品開発と市中心部の賑わい創出
重点施策 2-1	親子が遊んで学べる“地球体験”観光プログラム開発と体制づくり

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・全国イルカ繁殖研究サミットの開催 ・つくみイルカ島の利用促進策の検討 ・海の生き物や地球規模の海洋環境等を学べる体験プログラムの開発

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度 (平成31年度)	-
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム数50件以上(平成33年度) ・体験プログラム参加者数500人／年以上(平成33年度) ・教育旅行の受入件数3件／年以上(平成33年度)

事業スケジュール	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・全国イルカ繁殖研究サミットの開催 ・個人旅行者等を対象とした体験プログラムの検討 ・個人旅行者等を対象としたモニターツアーの実施
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの商品化、個人旅行者への営業強化
令和元年度 (平成31年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社への営業強化、団体ツアーの受入開始
令和2年度 (平成32年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行受入に向けた体制の強化、教育旅行受入に向けた営業実施
令和3年度 (平成33年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入開始

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
イルカ繁殖研究を通じてイルカ島のブランディングにつながっており、繁忙期の周遊促進策によって、市内への経済効果も創出した。教育旅行などの団体学習型旅行の誘致促進が課題である。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	○

今後の取組方向(予定等)
イルカ繁殖研究成果を生かした体験プログラムの開発・販売支援や、教育旅行の誘致促進 (今後の予定) つくみイルカ島と連携した教育イベント

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
つくみイルカ島フェスティバルの開催	周遊活性化対策協議会	GWにイルカ島と市中心部で集客イベントを開催し、市内周遊を促すもの	期間中に約1.1万人の来場があった。イルカ島の入場者増や市内周遊促進、観光消費の拡大につながった。
イルカ研究事業	農林水産課	つくみイルカ島と大学が連携して飼育技術及び繁殖技術の向上を目指すもの	産学官共同により、実験・研究を重ね、全国有数のイルカ繁殖拠点整備に向けた取組を着実に継続できた。
【施策13再掲】※体験プログラムの提供(観光戦略事業)	商工観光・定住推進課	クイズラリー実施に合わせて、体験プログラムを提供するもの	釣り体験、冷凍庫見学、保冷剤づくり体験、イルカ島体験等を予定したが新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となった。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・全国イルカ繁殖研究サミットの開催は、全国的に見ても特筆すべきものと考えられる。 ・進捗状況は順調であり、事業成果も顕在化していることから、今後も継続的に取り組んでいくことが望まれる。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・イルカ繁殖研究について、継続的に取り組むことで、つくみイルカ島の付加価値向上と全国展開につなげていくことが重要である。 ・体験プログラム数が大きく増加したことから、達成目標の上方修正を検討する。
令和元年度	

施策12 “島を歩こう！”保戸島の魅力をいかしたツーリズムの実現

施策の位置づけ	
基本方針 2	“全国に誇る”地域産業との連携による観光商品開発と市中心部の賑わい創出
重点施策 2-1	親子が遊んで学べる“地球体験”観光プログラム開発と体制づくり

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・観光ルート等の整備強化 ・ウォーキングツアープログラムの開発 ・島体験プログラムの開発(漁業体験、釣り体験、イカ干しや家庭料理の体験他) ・観光商品化に向けた課題の整理と解決(休憩場所やトイレ等の検討、ウォーキングコースのメンテナンス方法の検討他)

達成目標	
平成29年度 -	
平成30年度 -	
令和元年度(平成31年度) -	
令和2年度(平成32年度) -	
令和3年度(平成33年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム数50件以上(平成33年度) ・体験プログラム参加者数500人／年以上(平成33年度) ・教育旅行の受入件数3件／年以上(平成33年度)

事業スケジュール	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・個人旅行者等を対象とした体験プログラムの検討 ・個人旅行者等を対象としたモニターツアーの実施
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの商品化、個人旅行者への営業強化
令和元年度(平成31年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社への営業強化、団体ツアーの受入開始
令和2年度(平成32年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行受入に向けた体制の強化、教育旅行受入に向けた営業実施
令和3年度(平成33年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入開始

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
保戸島の魅力を生かしたツーリズム促進事業を通じて、島民主体による地域振興への取組が加速した。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	◎

今後の取組方向(予定等)
<p>「保戸島わくわく会議」を継続し、観光商品開発等の取組のフォローアップを行う。 (今後の予定) 保戸島わくわく会議の継続開催</p>

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
保戸島の魅力を生かしたツーリズム促進事業	周遊活性化対策協議会	保戸島わくわく会議を通じて、島の振興に向けた自発的な取組を育成するもの	外部専門家を招聘したわくわく会議(4回)を通じて、商品開発への意欲を醸成。イベント(Vicolo保戸島)開催をきっかけとしてマグロかぶと汁を開発した。
【施策13再掲】※体験プログラムの提供(観光戦略事業)	商工観光・定住推進課	クイズラリー実施に合わせて、体験プログラムを提供するもの	釣り体験、冷凍庫見学、保冷剤づくり体験、イルカ島体験等を予定したが新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となった。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況は順調であり、事業成果も顕在化していることから、今後も継続的に取り組んでいくことが望まれる。今後の保戸島観光の推進に期待したい。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「津っばく」等の取組により、体験プログラム数が大きく増加したことから、達成目標の上方修正を検討する。 ・保戸島観光の核となる人材確保、観光協会支所の開設、ガイド人材の確保育成が課題。
令和元年度	

施策13 “農家・漁師になろう”農漁業ふれあい体験観光の実現

施策の位置づけ	
基本方針 2	“全国に誇る”地域産業との連携による観光商品開発と市中心部の賑わい創出
重点施策 2-1	親子が遊んで学べる“地球体験”観光プログラム開発と体制づくり

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・バックヤード作業を含めた体験プログラムの開発 ・農漁家民泊の実施検討 ・教育旅行や体験学習向けのプログラムの開発

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度 (平成31年度)	-
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム数50件以上(平成33年度) ・体験プログラム参加者数500人／年以上(平成33年度) ・教育旅行の受入件数3件／年以上(平成33年度)

事業スケジュール	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・個人旅行者等を対象とした体験プログラムの検討 ・個人旅行者等を対象としたモニターツアーの実施
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの商品化、個人旅行者への営業強化
令和元年度 (平成31年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社への営業強化、団体ツアーの受入開始 ・教育旅行受入に向けた体制の強化、教育旅行受入に向けた営業実施
令和2年度 (平成32年度)	
令和3年度 (平成33年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入開始

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
イベントに合わせて体験プログラムの提供を試みたが、新型コロナ感染拡大の影響で実施ができなかった。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	
	△

今後の取組方向(予定等)
<p>農漁業体験プログラムの検討（みかん狩り体験の復活、養殖場見学、加工施設の見学ほか） （今後の予定） 造成した体験プログラムの実施</p>

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
※体験プログラムの提供（観光戦略事業）	商工観光・定住推進課	クイズラリー実施に合わせて、体験プログラムを提供するもの	釣り体験、冷凍庫見学、保冷剤づくり体験、イルカ島体験等を予定したが新型コロナ感染拡大の影響で延期となった。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業体験ツアーなどを実施し、津久見みかんの再生、ブランド化につなげていく必要があると考えられる。 ・進捗状況は順調であり、事業成果も顕在化していることから、今後も継続的な取組が望まれる。 ・津久見みかんのブランド化復活の期待は大きいので、今後の更なる取組強化が期待される。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・津久見みかんのブランド化につなげるためにも、さらなる連携・取組強化が望まれる。 ・「津っばく」等の取組により、体験プログラム数が増加したことから、達成目標の上方修正を検討する。事業進捗も数値を記載すべき。
令和元年度	

施策14 “津久見らしい”食と特産品の開発とブランド力の強化

施策の位置づけ	
基本方針 2	“全国に誇る”地域産業との連携による観光商品開発と市中心部の賑わい創出
重点施策 2-2	“津久見らしい”食と特産品の開発・提供・発信力の強化

施策内容(事業内容)の想定

- ・既存の特産品・食メニューのブランド力強化(マグロ、モイカ、津久見みかん、津久見山椒、菓子、津久見ひゅうが井、津久見産養殖本まぐろ、津久見の地魚他)
- ・新たな特産品・食メニューの開発(新商品、パッケージデザイン他)
- ・地域間連携による新たな食魅力の開発
- ・第1次産品等の加工場等の整備検討

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度 (平成31年度)	・新加工品・土産品・食メニューの開発10件/年以上 (平成31年度)
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	-

事業スケジュール	
平成29年度	・名物メニューの強化と新規開発に向けた勉強会 ・第1次産品等の加工場等の整備検討
平成30年度	・集客交流拠点での販売・提供に向けた勉強会 ※開発支援(専門家派遣、開発費の支援、試験販売等) ※地域間連携による勉強会(情報交換会)も含む ・商談会への参加、流通販売関係者の招へい等
令和元年度 (平成31年度)	・新商品等の供給体制構築支援及び販売開始 ※専門家派遣、事業拡大のための融資制度等の活用促進他

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)

地場産品のブランド強化に向けて、継続的な取組を行った。

○

今後の取組方向(予定等)

ブランド力の強化に向けた取組の継続
(今後の予定)
地元特産品を生かした商品開発/石灰石・セメント産業と連携した商品開発

※地方創生推進交付金関連事業

主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
津久見産品ブランド化事業	農林水産課	みかん(ざぼん)、津久見山椒、津あじ津さば等の第1次産品のブランド化を図るもの	水産物の関西・中部地域への出荷を実施。県内外での出店販売PR、小学校での料理教室・水産物の提供等を行った。
カメリアアイランド整備業務	経営政策課	無垢島特産品である椿の低木化を図り、椿の実の収穫の簡易化を図るもの。	継続的な事業実施によって収穫作業の簡易化は図られているものの、高齢化により収穫が困難化している。
※津久見市観光交流館機能強化事業(津久見市版観光DMO・地域商社機能加速化事業)	観光協会	津久見の魅力を生かした新しい商品を開発するもの	人気商品のセメントソフトをベースに、砂利ソフトを開発した。
水産業を活かした観光振興の方向性の研究	観光協会	水産業の実態把握と水産物を活かした観光振興の可能性を探求するもの	既存の食メニューのブランド力の強化を行うと同時に、資源の維持増大に努めることが重要である。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等

平成29年度	・豊後水道ではサメが捕獲されることから、「シャークバーガー」等の特徴的な企画を検討。 ・進捗状況は順調であり、食観光の売上金額は増加しているが、商店や飲食店等が観光による効果を実感できているか懸念される。更なる連携強化が望まれる。
平成30年度	・飲食店組合が実施した「食メニュー開発促進事業」、津久見市観光交流館機能強化事業は効果的であったと思われ、発展的な事業効果に期待する。事業進捗も数値を記載すべき。 ・全体的に商品数が不足していると思われ、一次産業との連携による加工商品開発が必要。
令和元年度	

施策15 “ノウハウ蓄積・ネットワーク強化”による食と特産品の流通・販売機会の拡大

施策の位置づけ	
基本方針 2	“全国に誇る”地域産業との連携による観光商品開発と市中心部の賑わい創出
重点施策 2-2	“津久見らしい”食と特産品の開発・提供・発信力の強化

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 域内消費の拡大(年間を通じた食イベントの展開、市民消費の拡大他) ・ 域外への販路拡大・営業(販売網の強化、通販やふるさと納税の取組強化)

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度 (平成31年度)	・ 食イベントにおける売上 平成28年度比で5割以上増加(平成31年度)
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	-

事業スケジュール	
平成29年度	・ 名物メニューの強化と新規開発に向けた勉強会
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集客交流拠点での販売・提供に向けた勉強会 ※開発支援(専門家派遣、開発費の支援、試験販売等) ※地域間連携による勉強会(情報交換会も含む) ・ 商談会への参加、流通販売関係者の招へい等
令和元年度 (平成31年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品等の供給体制構築支援及び販売開始 ※専門家派遣、事業拡大のための融資制度等の活用促進他

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
定番企画の磨き上げ、繁忙シーズンに合わせた新たな消費拡大施策を行った。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	
◎	

今後の取組方向(予定等)
<p>広域連携による集客力の強化、弁当・テイクアウトの強化や販路開拓、特産品の開発継続・販路開拓(今後の予定)</p> <p>既存キャンペーンの磨き上げ・新キャンペーンの検討/販路開拓(通販サイトの活用、市内消費拡大など)</p>

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
津久見ひゅうが丼キャンペーン	観光協会	マグロの町としてのブランディングを図るため、ご当地メニューをPRするもの	食数は前年並みを維持し、客単価が向上した。家族連れを対象に、お子様プレートPRなどが寄与した。
津久見モイカフェスタ	観光協会	「漁師×漁協×料理人」による地産地消の促進を目指すもの	食数・客単価ともに前年並みを維持した。モイカの資源量の減少や卸値の高騰への対応が課題。
津久見産本マグロフェア	商工会議所	桜まつりにあわせて、津久見産本マグロをPRするもの	食数が前年より増加。チラシを一新し、値ごろ感のあるメニューを追加したことが寄与した。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた。
桜クーポンの販売	観光協会	桜まつりにあわせて、市内での消費を促進するもの	会場や市内飲食店など一定の利用があった。参加店の拡大、利用方法の簡便化が課題。
GWランチキャンペーン	観光協会	GWにあわせて、市内飲食店での消費を促進するもの	GW期間中の飲食店利用の拡大に寄与した。GW短期間だけのためのキャンペーンはコスト高のため、実施方法の改善が課題。
あったかさくらんちキャンペーン	観光協会	桜まつりにあわせて、市内飲食店での消費を促進するもの	桜まつり期間中の飲食店利用の拡大に寄与した。桜まつりにちなんだメニューや津久見らしさを感じさせるメニューのPRが課題。
通販サイトツクミドケルの開発	観光協会	当市の特産品を販売するウェブサイトを開発するもの	当市特産品を販売するためのウェブサイトを開発した。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食観光の売上は増加しているが、夜間営業の売上は伸び悩んでいる実感がある。 ・ 公共交通機関(タクシー等)の人手不足が深刻であり、飲食店の売上にも深刻な影響を与えている。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間営業の売上、公共交通機関(タクシー)の人手不足は引き続き課題である。 ・ 購買機会を拡大し、経済波及効果の拡大につなげることが課題である。
令和元年度	

施策16 “味力結集”による食と特産品情報の発信・プロモーション

施策の位置づけ	
基本方針 2	“全国に誇る”地域産業との連携による観光商品開発と市中心部の賑わい創出
重点施策 2-2	“津久見らしい”食と特産品の開発・提供・発信力の強化

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏向けプロモーション(物産展や観光イベント等への出展他) ・市民向けプロモーション ・市内外の交通事業者、旅行会社等とのタイアップの検討及びビジネス客・関連企業へのプロモーションの実施 ・ウェブ媒体を使った情報発信 ・新たな情報発信媒体の開発検討

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度(平成31年度)	・食イベントにおける売上 平成28年度比で5割以上増加(平成31年度)
令和2年度(平成32年度)	-
令和3年度(平成33年度)	-

事業スケジュール	
平成29年度	・ウェブ媒体を使った情報発信強化(特設ウェブサイト、SNS活用他)
平成30年度	・都市圏等で開催される物産展や観光イベント等への出展強化 ・市内外の交通事業者、旅行会社等とのタイアップの検討及びビジネス客・関連企業へのプロモーションの実施
令和元年度(平成31年度)	・新たな情報発信媒体の検討・実施
令和2年度(平成32年度)	-
令和3年度(平成33年度)	-

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
新たな情報発信媒体の制作、大学連携など新たな取組を実施した。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	◎

今後の取組方向(予定等)
周遊促進のためのプロモーションの継続、制作した媒体の効果的な活用、WEBやSNSを活用した情報発信の強化(今後の予定) ・観光ガイドブック等への出稿検討

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
総合観光パンフレットの更新	観光協会	パンフレット情報の更新に合わせて、パンフレットを刷新するもの	サイズ、内容などを大幅に見直し、観光地や交通拠点などで積極的な配布をしている。
市内周遊促進のためのプロモーション	周遊活性化対策協議会	イルカ島を核として、市内の周遊促進を図るもの	テレビCM、お天気フィラー、フリーペーパー等を活用して、津久見の魅力を総合的に発信した。
復興まちづくり事業におけるスイーツマップの制作	周遊活性化対策協議会	津久見川河川改修工事に伴う周辺環境整備の一環として市中心部の周遊促進を図るもの	福岡大学との連携により、スイーツ・防災マップを制作した。マスメディアなどにも掲載された。
YOUTUBERプロモーション	観光協会	イルカ島と協働で、訪日外国人誘致に向けたプロモーション映像を制作・継続発信するもの	特に香港・台湾からの来訪が急増した。年度後半は政情変化や新型コロナ感染拡大の影響を大きく受けた。
デジタルサイネージを活用したプロモーション	観光協会	つくみマルシェ内で動画・写真等を活用した情報発信を行うもの	河津桜シーズンの空撮動画や、花火大会の動画など、新たなコンテンツを導入した。
SNSを活用したプロモーション	観光協会	イベントや食などの情報をSNSで発信するもの	高頻度の更新を通じて、フォロワーを拡大した。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	・津久見観光大使を効果的に活用すべき。 ・商店や飲食店の方々が実感できる効果は得られていない。具体的な成果が実感できるようにすべき。
平成30年度	・新商品の情報発信が課題。 ・商店街や飲食店(夜間営業等)の方々に、実感できる効果が必要。
令和元年度	

施策17 “若い力”を活用したまちなか賑わい創出

施策の位置づけ	
基本方針 2	“全国に誇る”地域産業との連携による観光商品開発と市中心部の賑わい創出
重点施策 2-3	市民と観光客が“ともに賑わう”中心市街地の活性化

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・津久見高等学校商業科等と連携した学習・研修機会の提供 ・空き店舗所有者と出展希望者のマッチング ・中心市街地における若者等の起業・創業支援(空店舗や遊休地を活用したチャレンジショップ[®] 他) ・大学等と連携したまちなか賑わい創出事業

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度 (平成31年度)	・中心市街地における観光関連店舗の新規起業・創業5件(平成31年度)
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	-

事業スケジュール	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・津久見高等学校商業科との連携強化 ・大学等と連携したまちなか賑わい創出事業との連携 ・空き店舗、遊休地のマッチング ・若者等の起業・創業支援策の検討
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・若者等の起業・創業支援策の実施
令和元年度 (平成31年度)	
令和2年度 (平成32年度)	
令和3年度 (平成33年度)	

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
まちなかづくりなどに取り組む市民、中学生などがまちなか賑わい創出に参画したほか、新規創業等もあった。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	
◎	

今後の取組方向(予定等)
<p>(今後の予定)</p> <p>創業支援事業の継続／空き家情報バンクの情報拡充／津久見川周辺のにぎわい創出</p>

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
津久見市創業支援事業	商工観光・定住推進課	創業しようとする方に対し、必要な経費の一部を補助するもの	平成30年度は6件、令和元年度は7件あり、13件中10件が商店街に飲食店を開業しており、中心市街地の活性化にも大きく寄与している。
移住定住コーディネート支援業務	周遊活性化対策協議会	宅建協会と連携して、「住まいのなんでも相談会」を実施するもの	相談会を開催し、転居を検討される方へ直接的なアドバイスを行った。
水辺を活用したイベント運営支援業務	周遊活性化対策協議会	津久見川周辺のにぎわい創出と地域コミュニティの活性化及び市内周遊を促すもの	中学生がワークショップに参加。これをふまえてイベントを実施した。来年度も継続実施。
空き家情報バンク	商工観光・定住推進課	移住促進による地域活性化をめざし、空き家情報を発信するもの	令和元年度末で登録物件が27件、利用希望者登録数18人、賃貸1件、売買6件の計7件が成立している。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・食観光の売上金額は増加しており、今後も継続的に取り組んでいくことが望まれる。 ・商店や飲食店の方々が実感できる効果は得られていない。具体的な成果が実感できるようにすべき。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街や飲食店（夜間営業等）の方々に、実感できる効果が必要。
令和元年度	

施策18 “組織・顧客・動線”のつながり強化による中心商店街のパワーアップ

施策の位置づけ	
基本方針 2	“全国に誇る”地域産業との連携による観光商品開発と市中心部の賑わい創出
重点施策 2-3	市民と観光客が“ともに賑わう”中心市街地の活性化

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心商店街の連携強化(中心商店街の再編、新規サービスやイベントの検討、通信販売の強化他) ・ 商店街が有する既存顧客リストを活用した次世代顧客の獲得 ・ つくみ公園等との連携強化(うみえーるつくみんち、コナ293号、新集客交流拠点等との連携他) ・ 総合的な中心市街地活性化施策の検討

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度 (平成31年度)	・ 中心市街地における観光関連店舗の新規起業・創業5件(平成31年度)
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	-

事業スケジュール	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な中心市街地活性化施策の検討 ・ 新プロモーション、イベント、サービス等の検討・実施 ・ つくみ公園との連携強化施策の検討・実施 ・ 観光客向けの商業集積及び集客交流拠点との連携施策の検討
平成30年度	・ 若者等の起業・創業支援策の実施
令和元年度 (平成31年度)	-
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	・ 集客交流拠点との連携施策の実施

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
市中心部の今後のありかたについて、議論を着実に積み重ねた取組が進んだ。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	◎

今後の取組方向(予定等)
集客交流拠点整備を見据えた市中心部の機能連携の強化、賑わい創出 (今後の予定) 金融ゾーンの整備/つくみ軽トラ市の継続(埋立地/商店街)/ランドデザインのとりまとめ(令和元~3年度) /津久見市中心部の活性化に関する検討委員会(令和2年度)

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
※つくみ軽トラ市(街なか賑わい創出事業)	つくみ軽トラ市実行委員会(周遊活性化対策協議会)	市中心部において一次産品等を軽トラックで販売するイベントを実施するもの	会場を商店街に移して2回開催し、延べ6千人程度が来場した。商店街も企画実施に参加した。
津久見駅前ライトアップ	商工会議所青年部	JR津久見駅前付近でのイルミネーション点灯	飲食店組合と連携したつくみdeイルミキャンペーン、うみかぜラヂオ、c-laboつくみと連携した点灯式など、新たな試みが行われた。
津久見商業協同組合事業	商業協同組合	つくつくカード事業、商品券発行事業	商品券の発行、つくつくカード事業等を実施。組合員数の維持、新規加入促進等が課題。
市中心部のランドデザインを核とした「都市計画に関する基本的方針」の見直しに関する調査研究業務	まちづくり課	市中心部において今後10年以内に取り組まれるべき施策を整理するもの	集客交流拠点も含めた、市中心部のランドデザインについてのWSを開催するなど、市民ニーズの把握に努めた。本事業は、令和2年度も継続実施する。
津久見市中心部の活性化に関する検討委員会の開催	経営政策課	中心市街地の今後の方向性を見だし、実情に合った計画策定を検討するもの	市が計画している施策や進行中の施策について、委員意見を収集した。新庁舎、集客交流拠点の整備方法などの検討が必要である。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食観光の売上金額は増加しており、今後も継続的に取り組んでいくことが望まれる。 ・ 商店や飲食店の方々が実感できる効果は得られていない。具体的な成果が実感できるようにすべき。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 津久見の街なかは、空き店舗も多く、さびしく活力が感じられない。 ・ 観光と商店街振興のつながりを重視してもらいたい。 ・ 商店街や飲食店(夜間営業等)の方々に、実感できる効果が必要。
令和元年度	

施策19 “賑わいをいつまでも！”伝統芸能・歴史・文化、スポーツ、イベント等を通じた観光交流の推進

施策の位置づけ	
基本方針 2	“全国に誇る”地域産業との連携による観光商品開発と市中心部の賑わい創出
重点施策 2-3	市民と観光客が“ともに賑わう”中心市街地の活性化

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・「津久見扇子踊り」交流の市内開催や市外イベントへの参加 ・スポーツ交流イベントの誘致(野球、ソフトボール他) ・既存イベントの活性化及びイベントを通じた観光消費拡大戦略の検討・実施

達成目標	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「津久見扇子踊り」交流イベントの開催 (平成29年度以降～) ・「津久見扇子踊り」の市外イベントへの参加 (平成29年度～) ・スポーツ交流イベント年1回以上誘致(平成29年度～) ・イベントを通じた観光消費拡大戦略の検討・実施 (平成29年度～)
平成30年度	-
令和元年度 (平成31年度)	-
令和2年度 (平成32年度)	-

事業スケジュール	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「津久見扇子踊り」交流イベントの開催 ・「津久見扇子踊り」市外イベントへの参加 ・スポーツ交流イベントを誘致 ・既存イベントの活性化及びイベントを通じた観光消費拡大戦略の検討
平成30年度	・イベントを通じた観光消費拡大戦略の実施
令和元年度 (平成31年度)	-
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	・集客交流拠点との連携施策の実施

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
関係者の尽力により各種恒例行事を継続することができた。郷土芸能をはじめ、担い手不足への対応が課題である。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	○

今後の取組方向(予定等)
継続に向けた課題への対応検討(担い手、費用など) (今後の予定) 扇子踊り娘認定・派遣、津久見扇子踊り大会の継続・一般参加者の受入検討/つくみ港まつりの継続/ふるさと振興祭の継続/芸術文化振興事業の継続/各種スポーツイベントの継続

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
津久見扇子踊り大会	観光協会	イベントを通じた、郷土芸能の保存継承、市民の交流を図るもの	雨天により翌日に順延したが、市内企業各社及び団体等から約700名の参加を得て盛大に開催した。
扇子踊り娘の認定・派遣	観光協会	市内の企業・団体等からの推薦を受けた「扇子踊り娘」を市内外の各種行事に派遣するもの	市内外の各種行事に派遣し、文化交流を通じて、本市をアピールした。
つくみ港まつり	つくみ港まつり実行委員会	イベントを通じて市民の交流を図るもの	雨天によりソイヤつくみが中止となったが、花火大会を開催し約3万人の入込となった。
各種スポーツイベント	生涯学習課各団体	青江ダム駅伝大会、ウォーキング大会、ソフトボール大会などを実施するもの	恒例行事として定着しているが、参加者数の確保などが課題である。
ふるさと振興祭	ふるさと振興祭実行委員会	特産品開発・紹介、まちづくりグループ育成、伝統芸能の保存紹介をするイベントを企画開催するもの	恒例の出店、郷土芸能、鉱山見学のほか、日豊経済圏域他の広域交流、中高生の参画などに取り組んだ。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	・特に、本市を代表する伝統芸能「津久見扇子踊り大会」は、更なる集客により盛り上げていくための工夫が必要である。
平成30年度	・伝統芸能における後継者不足は深刻であり、関連部署と連携した担い手育成やイベント運営の改善等の対策が急務である。
令和元年度	

施策20 津久見市観光推進の中核機能強化と地域連携体制の構築

施策の位置づけ	
基本方針 3	“オール津久見”による観光推進体制の確立
重点施策 3-1	“津久見市版”観光DMO機能の構築

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・観光推進のリーダー人材の確保、人材育成アクションプログラムの実践 ・観光推進の中核となる組織と地域連携体制の構築

達成目標	
平成29年度	・人材育成アクションプログラムの実践による中核となる人材及びプレイヤー組織の育成(平成29年度)
平成30年度	・観光推進の中核となる人材確保(平成30年度)
令和元年度(平成31年度)	-
令和2年度(平成32年度)	-
令和3年度(平成33年度)	・観光推進の中核となる組織と地域連携体制の確立(平成33年度)

事業スケジュール	
平成29年度	-
平成30年度	・中核となる人材及びプレイヤー人材・組織等の育成(人材育成アクションプログラム等)
令和元年度(平成31年度)	・観光DMO機能及び地域商社機能の検討
令和2年度(平成32年度)	-
令和3年度(平成33年度)	・観光推進の中核となる組織と地域連携体制の確立

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
津久見市版観光DMOの実現に向けて、着実に取組を推進した。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	
◎	

今後の取組方向(予定等)
津久見市版観光DMOコーディネーター(外部人材)の任期最終年度であり、以降に向けた体制を視野に検討を進める。 (今後の予定) 観光協会の法人化

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
※津久見市版観光DMO・地域商社機能実践事業(津久見市版観光DMO・地域商社機能加速化事業)	商工観光・定住推進課	津久見市版観光DMO・地域商社機能構築のため、日本交通公社研究員を津久見市観光協会に配置するもの	津久見市観光協会の将来体制について検討を行い、法人化を目指す方針を固めた。今後、具体像を明らかにしていく必要がある。
※動画制作勉強会(専門家の招へい/津久見市観光戦略推進事業)	商工観光・定住推進課	市の魅力を発信する動画コンテンツの充実に向けて、関心がある市民等を対象に勉強会を開催するもの	スマホでもできる動画制作の専門的な技術を学び、観光情報など市民からの情報発信の強化につながった。
※観光DMO機能推進のための地域人材活用事業	商工観光・定住推進課	まちづくり推進員、観光戦略推進員、農林水産振興アドバイザーを関係課及び観光協会に配置するもの	市中心部のまちづくり、商品開発等の取組を核となる関係者と連携し実施したことで、観光推進体制構築に向け大きな成果が得られた。
※観光DMO機能構築中核的専門人材確保事業	商工観光・定住推進課	津久見市版観光DMO機能構築に向けて、具体的な人材を想定し、取組を進めるもの	中核となる経理・会計人材、商品開発人材、顧問人材等について、実際の活動を通じて人的ネットワークを確保した。
観光DMOの実現に向けた実践的検証	観光協会	観光協会の観光DMO化を視野に、具体的な活動を実践するもの	市の観光の推進役として、各種企画の実施、事業を通じた地域内の各主体等との連携、プロモーション、商品開発等に取り組んだ。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	・観光DMOは、人材確保が最も重要と思われる。今後の取組強化が期待される。
平成30年度	・観光DMO・地域商社には、事業収入と人材確保が必須である。 ・観光戦略を推進するためには市民の理解が必要であり、特に若い世代の参画に期待したい。
令和元年度	

施策21 “市民や企業が活躍できる”受入体制・環境の整備

施策の位置づけ	
基本方針 3	“オール津久見”による観光推進体制の確立
重点施策 3-1	“津久見市版”観光DMO機能の構築

施策内容(事業内容)の想定

- ・事務局機能の構築(旅行者の窓口機能、旅行会社との連携機能他)
- ・ガイド人材の確保・育成(OB・OGの活用、市民団体等との連携他)
- ・体験観光活動フィールドの整備

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	・事務局機能の確立(平成30年度)
令和元年度 (平成31年度)	-
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	・ガイド人材50人以上(平成33年度) ・協力企業等20社以上(平成33年度)

事業スケジュール	
平成29年度	・体験観光の事務局機能の検討 ・体験観光のガイド人材・企業の発掘、講習会の実施
平成30年度	・体験観光の事務局機能の確立 ・活動フィールドの整備、順次供用開始
令和元年度 (平成31年度)	-
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	-

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)

取組を通じて、観光まちづくりの新たな担い手発掘、育成を図った。各団体や取組の自立・継続が課題である。

年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況 ○

今後の取組方向(予定等)

事業を今後も継続する。
(今後の予定)
津っぱくの継続/まちづくり推進事業・婚活サポート推進事業の継続

※地方創生推進交付金関連事業

主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
津久見くらしの体験博覧会「津っぱく」	周遊活性化対策協議会	市民発意による体験観光商品造成を促すとともに、人材発掘をするもの	本市の魅力を伝えることができるガイド人材の発掘が進んだ。運営財源と事務局機能の確立が課題である。
まちづくり推進事業・婚活サポート推進事業	商工観光・定住推進課	津久見市のまちづくりや婚活に貢献する事業を公募し、助成する事業するもの	本事業を通じて、市民主体による各種イベントが開催された。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等

平成29年度	・津っぱくの取組により、ガイド人材が育成されつつある。今後の更なる取組強化が期待される。
平成30年度	・津っぱく、まちづくり推進事業、婚活サポート推進事業等により、着実に人材育成、市民参画につながっている。
令和元年度	

施策22 広域連携による合同プロモーションや観光商品開発の強化

施策の位置づけ	
基本方針 3	“オール津久見”による観光推進体制の確立
重点施策 3-1	“津久見市版”観光DMO機能の構築

施策内容(事業内容)の想定

- ・ 県南3市の広域連携プロモーション活動への参画
- ・ ストーリーやテーマ性のある広域観光商品の開発・プロモーション(大友宗麟関連史跡の活用他)
- ・ 大分都市広域圏推進会議、ツーリズムおおいた、大分県等が実施する広域連携プロモーション活動への参画

達成目標	
平成29年度	・ 広域連携によるプロモーション活動年1回以上実施(平成29年度～)
平成30年度	-
令和元年度 (平成31年度)	-
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	-

事業スケジュール	
平成29年度	・ 広域連携プロモーションの実施・参画
平成30年度	
令和元年度 (平成31年度)	
令和2年度 (平成32年度)	
令和3年度 (平成33年度)	

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)

周辺市町村等と連携したプロモーションに取り組んだほか、広域連携による観光商品(ツアー)も具体化した。県内外の主要観光地等との連携強化が課題である。

年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況 ○

今後の取組方向(予定等)

広域連携によるプロモーションや観光商品開発に向けた取組の継続・強化(今後の予定)
 ツーリズム商談会への参画/日豊海岸ツーリズムパワーアップ協議会への参画/3市連携による航空会社との共同プロモーション/日豊経済圏域や大分市などとの連携/大友宗麟史跡の活用

※地方創生推進交付金関連事業

主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
ツーリズム商談会	観光協会	ツーリズムおおいたと連携し、複数の旅行会社担当者を招聘し商談を行うもの	大手旅行会社等に対して、プレゼンテーション、現地視察等の商談を実施。媒体掲載やツアー造成につながった。
日豊海岸ツーリズムパワーアップ協議会への参画	観光協会	臼杵、津久見、佐伯の3市で観光プロモーションを行うもの	好評であった島めぐりパンフレットを増刷した。
大分・愛媛地域間交流促進事業(豊予ふれ愛協議会)	経営政策課	大分県中部地域が愛媛県西伊予地域と交流するもの	サイクリングマップを作成したほか、小学生を対象とした「友情の船」を実施した。広域交流活性化に一定の成果が挙げられた。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等

平成29年度	・ 特になし
平成30年度	・ 県内の地域商社が首都圏でのPRに成功している事例を参考にすべきと思う。
令和元年度	

施策23 地域資源への“愛着心”の醸成

施策の位置づけ	
基本方針 3	“オール津久見”による観光推進体制の確立
重点施策 3-2	市民が“自ら学び・楽しむ”機運の醸成

施策内容(事業内容)の想定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育と観光で活用できる「観光副読本」等の企画検討・製作 ・ 市民が津久見市を学び、ガイド育成も視野に入れた市民講座「(仮称)つくみカレッジ」の立ち上げ ・ 市民の活動を共有する「つくみ観光シンポジウム」の開催 ・ 「私の好きな津久見の風景」等の発掘(フォトコンテスト等の実施)

達成目標	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「(仮称)つくみフォトコンテスト」の実施(平成29年度～) ・ 「(仮称)つくみ観光シンポジウム」の実施(平成29年度～)
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民講座「(仮称)つくみカレッジ」の立ち上げ(平成30年度)
令和元年度(平成31年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民講座「(仮称)つくみカレッジ」を通じたガイド輩出(平成31年度)
令和2年度(平成32年度)	-
令和3年度(平成33年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光副読本の製作(平成33年度)

事業スケジュール	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光副読本の企画検討 ・ つくみフォトコンテストの実施 ・ つくみ観光シンポジウムの実施
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民講座の開校
令和元年度(平成31年度)	-
令和2年度(平成32年度)	-
令和3年度(平成33年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光副読本の製作

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)
関係主体と連携しながら、シビックプライド醸成に向けて、取組を推進した。
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況
○

今後の取組方向(予定等)
<p>これまでの取組を継続しながら、さらにシビックプライド醸成に資する取組を検討していく。 (今後の予定) つくみ観光市民講座の継続／ふるさと教育の継続／芸術文化振興事業の継続／クイズラリー（繰り越し）／桜フォトコンテスト／桜スケッチ大会</p>

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
※つくみ観光市民講座の開催(津久見市観光戦略推進事業)	商工観光・定住推進課	当市の観光まちづくりへの関心と理解を高めるための講座を開催するもの	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったが、次年度以降も継続をしたい。
ふるさと教育	学校教育課	ふるさと教育での、扇子踊り体験、石灰石鉱山見学等の実施。	伝統芸能の継承と津久見が誇る石灰石鉱山の雄大な景観を体験し、津久見の良さを再認識できた。今後も継続的な取組が重要である。
芸術文化振興事業	生涯学習課各団体	津久見樫の実会、観劇会、文化協会等への運営支援するもの	津久見樫の実会や観劇会等の活動により、市民会館を活用したコンサート等を開催し、好評を博した。
※善ちゃん先生による郷土の特徴を生かした科学実験講座(津久見市観光戦略推進事業)	商工観光・定住推進課	市内中学校で、郷土の特徴を生かした科学実験を行い、郷土への理解深化をはかるもの	北沢善一氏を招聘し、科学実験と、地元特産である石灰を活用した体験を実施。受講生の理解を深めることができた。
※つくみの特徴を生かしたクイズラリー(津久見市観光戦略推進事業)	商工観光・定住推進課	市内飲食店や商店等の参画による、クイズラリーを通じて、観光ブランディングを目指すもの	新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となった(一部次年度繰り越し)。
2020つくみ桜フォトコンテストの開催	商工会議所	桜まつりとあわせて、写真教室とコンテストを開催し、市民等の関心向上を図るもの	市内外から多くの作品応募があった。市内の桜に対する市民の愛着深化に繋がったと考えられる。
大友公園桜まつりスケッチ大会	商工会議所	大友公園を中心とした桜スポットの風景を描く大会を開催し、市民等と関心向上を図るもの	新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ つくみ観光市民講座の参加者をふやすための取組が必要 ・ 観光戦略の事業を通じて、更に多くの市民との接点を持つことが重要
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ つくみ観光市民講座の参加者をふやすための取組が必要 ・ 観光戦略の事業を通じて、更に多くの市民との接点を持つことが重要
令和元年度	

施策24 市民参加による“花”の景観づくり

施策の位置づけ	
基本方針 3	“オール津久見”による観光推進体制の確立
重点施策 3-2	市民が“自ら学び・楽しむ”機運の醸成

施策内容(事業内容)の想定

・市内の遊休地や沿道・商店街等での「花いっぱい運動」等の推進

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度 (平成31年度)	-
令和2年度 (平成32年度)	-
令和3年度 (平成33年度)	・「花いっぱい運動」を全地区に拡大(平成33年度)

事業スケジュール	
平成29年度	・各地区及び企業において「花いっぱい運動」を展開
平成30年度	
令和元年度 (平成31年度)	
令和2年度 (平成32年度)	
令和3年度 (平成33年度)	

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)

昨年度、周辺住民・店舗の協力を得て、海岸通りに設置したフラワーポッド設置の取組をつうじて「フラワーロード」の愛称も定着し、地域住民・商店主体のイベントも定例的に開催されている。

年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況 ○

今後の取組方向(予定等)

市中心部のグランドデザイン構想をふまえて、取組を継続し、商店街全体へ機運拡大を図る。
(今後の予定)
フラワーポッドの管理継続

※地方創生推進交付金関連事業

主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
フラワーポッドの管理	まちづくり課 角崎通り商店有志	海岸通りにフラワーポッドを設置し、周辺住民・店舗の理解・協力を得て管理するもの。	フラワーロードの愛称が定着し、地域住民主体のイベントも開催された。今後も適正な管理継続をサポートしていく。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	・進捗状況については、台風災害により事業が未実施となったことから、今後の取組強化が必要であると考えられる。
平成30年度	・昨年度に引き続き未実施となったことから、施策内容を検討する必要があると思われる。
令和元年度	

施策25 “津久見ファン”ネットワークによる販路拡大と移住交流の促進

施策の位置づけ	
基本方針 3	“オール津久見”による観光推進体制の確立
重点施策 3-3	“津久見ファン”ネットワークによる販路拡大と移住交流の促進

施策内容(事業内容)の想定	
<ul style="list-style-type: none"> ・本市出身の都市圏在住者(福岡、大阪、名古屋、東京等)、本市へのビジネス来訪者やその家族等の組織化 ・ふるさと情報、特産品やふるさと納税情報、移住、イベント情報等の発信 	

達成目標	
平成29年度	-
平成30年度	・津久見ファンネットワークの構築(平成30年度)
令和元年度(平成31年度)	-
令和2年度(平成32年度)	-
令和3年度(平成33年度)	-

事業スケジュール	
平成29年度	・津久見ファンネットワークの構築検討
平成30年度	・津久見ファンネットワークの構築
令和元年度(平成31年度)	・情報発信を含むファン向けサービスの実施開始
令和2年度(平成32年度)	-
令和3年度(平成33年度)	-

年間成果と課題(総括、達成目標・スケジュールに対する進捗など)	
ふるさと納税や移住促進を通じて、津久見ファンネットワークの強化・拡大を図った。	
年度別の達成目標・事業スケジュールの進捗状況	
○	

今後の取組方向(予定等)	
津久見ファンの拡大、移住促進のための取組を継続する(今後の予定) ふるさと納税のさらなる推進/移住・就農関連イベント等への参加・実施/移住促進に向けた情報発信	

※地方創生推進交付金関連事業			
主な関連事業の概要と成果・課題等			
事業名	担当部署	概要	成果・課題等
ふるさと納税の推進	商工観光・定住推進課	ふるさと納税の返礼品の新規開発・PR等をおこなうもの	令和元年度は、返礼品約120品目、ふるさと納税約6400件、総額約9200万円であった。
移住交流フェア等への参加	商工観光・定住推進課	東京、大阪で開催された移住交流フェアに参加し、PRするもの	計6回のフェアに参加し、多くの相談に対応した(56組69人)。今後はオンライン相談会なども実施する。
農業担い手育成総合支援事業	農林水産課	就農希望者を対象とした相談、短期・中期の就農研修の開催などを通じて担い手を育成するもの	就農希望者への研修等を通じて農業の担い手育成を実施した。今後6次化への意識を高めながら、体験プログラム開発とも連携していく。
移住定住ポータルサイトの運営	商工観光・定住推進課	津久見市への移住、UJIターンを検討する方への情報発信を行うウェブサイト運営するもの	移住支援策や住宅・土地の物件情報、子育て関連情報、イベント情報などを提供し、空き家バンクの利用数増にもつながっている。
おおいた暮らし体験ツアー	商工観光・定住推進課(大分県)	大分県への移住を検討している方を対象に体験ツアーを開催するもの	福岡版女性向けツアー12人、若者向けツアー20名を実施。参加者から地域おこし協力隊の応募があり採用に至った。
ふるさと納税促進に向けたPR動画作成	商工観光・定住推進課	ふるさと納税促進に向けたPR動画作成し、全国へ情報発信するもの	全国区の媒体に掲載されるなど大きな反響があり、ふるさと納税額の拡大に貢献した。
つくみチャレンジ動画コンテストの開催	総務課	津久見に関する動画を募集するもの	複数の主体から質の高い動画の応募があり、一部作品はテレビ局イベントに応募し、市内外からの反響があった。

観光戦略会議及び津久見市議会からの指摘事項等	
平成29年度	・津久見ファンネットワークのあり方、観光大使の活用の検討が必要
平成30年度	・津久見ファンネットワーク構築の手法、観光大使制度の再構築と活用手法等を再検討し、移住交流、ふるさと納税の推進につながる取組へと深化させていく必要がある。
令和元年度	